

あいち障害者センターNEWS(号外)

2025年 11 月

(講師派遣・研修版)

発行：NPO あいち障害者センター

「支援をつなぐ連続講座」

第1回 12歳の接続(2025年10月5日)報告

小学生時代に学童保育所と放課後デイを併用している子どもたちは、中学進学時に放課後生活をどのように過ごしているのかについて、小学生対象放課後デイ「あさがお」と障害児相談支援事業「あさがお」に報告していただきました。

学童保育所と併設された放課後デイ「あさがお」では、3階建ての建物の各階を「静かに過ごす」「座って遊ぶ」「体を使って遊ぶ」と目的別に使い分け、子どもたちがしたい活動を選んで過ごしています。放課後は子どもたちが自由にしたいことをたっぷり遊び、気の合う友達、気の合う大人と関わる時間と位置付けつつ、学年に合わせた企画に向けて同学年での活動にも取り組んでいます。障害のある子の保護者の多くは、小学校卒業後の放課後生活を見据えて複数のデイを利用しているとのことですが、今年度は「OB 保護者の話を聴く会」を催し「卒所後の生活」について交流したそうです。

「相談支援あさがお」の報告では、ほとんどの保護者が最初から中高校生も利用する事業所を選択していて、小学生対象放課後デイを利用している保護者はわずか5%とのこと。相談支援の中では、中高生になるとデイに行かずに「家でのおんびり過ごしたい」という子が増え、保護者の思いとずれが生じてくるそうで、性的成熟が進み興味も変化して来る中高校生期にふさわしい放課後生活とはと、考えさせられているとのことでした。

参加者は保護者の立場で参加した方が多く、率直な意見が出されました。まずは学校との関係に焦点が。当初3か所の放課後デイを利用していた小学校3年生は現在1か所のみを利用していて、行きたいときに行くという感じだとのこと。本人の希望で通常級に入学後は色々トラブルがあったが、強力な「支援チーム」の力で学校が変化してきていて「学校が好き」になり、放課後は隣の家のおじさんと仲良しで隣家で過ごすことが多いとのこと。どういうチームが何に取り組んだのかが話題となりましたが、相談支援専門員だけでなく、保育所等訪問支援員が「保護者の思い」を前面に立てて担任と折衝してくれているのだそうです。小4から学校に行けなくなった子は特別支援学級に変わることで登校が可能になり、中学入学後は2か所の事業所を利用。クラスの子と同じ事業所に通うことを喜んでいるそうです。学校生活がきついと放課後生活に影響が出ますが、好きなことや気の合う友達がいることの大切さを感じさせられます。

障害児の場合、学童保育所の姿勢によっては通うことが大変になり、放課後デイとの併用が必要なこと、重心児の保護者の場合は、卒業後に通う生活介護やグループホームを運営する法人の事業所を選ぶこと等の、実情も報告されました。

中高校生向けの活動保障のために、曜日で利用対象を分けている放課後デイには保健室もあり、保健室で過ごす子もいるとのことでした。

本来は保護者の都合ではなく、本人が中高校生らしく、したいことを選び楽しんで取り組める場が必要ですし、自宅でマイペースで過ごしたいという思いも尊重されるような支援の仕組みについても考え合いたいと思った3時間でした。

(文責：コーディネイター 近藤直子)

センター講座 2025 第2弾

接続に関わる教員さんや、指導員さん、福祉を学ぶ学生さん、ぜひ参加を。
2回のみ、3回のみ参加もOKです。(各回1000円、学生500円)

センター講座2025

支援をつなぐ 連続講座

小学校から中学、高校へ、卒業後は？
節目の年齢による接続の「問題」を、
まずは、関係者で共有し、考え合うこ
とから始めましょう。

コーディネーター：近藤直子さん



12歳の接続

10月5日(日)
13:00~16:00

♥デイサービスあさがお
学童保育所・放課後デイは
12歳問題にどう取り組ん
でいるか

♥相談支援あさがお
障害児相談支援は何にどう
取り組んでいるか

2

18歳の接続

11月30日(日)
13:00~16:00

♥鉄井史人さん
(地域ネットワーク ☆kirara)
特別支援学校教員としての
取組

♥今冶信一郎さん
(きょうされん愛知支部)
障害者就労支援事業所とし
ての取組

3

家族として

2月1日(日)
13:00~16:00

♥浅野美子さん
(おとなになった3きょう
だいの母)
家族で取り組んでいること

♥平松和弘さん
(特別支援学校中学部2年
生の父)
ともに学び考え取り組みた
いこと



参加費:3000円(1回1000円)
※学生1500円(1回500円)

申込:あいち障害者センター
TEL052-682-7915 asc732@spa.nifty.com

「報告してみての感想」

近藤先生からテーマ（12歳の接続）をいただいた時に、自分たちのこれまでの支援について振り返って考えてみる必要があり、それがとてもよい機会になりました。

これまで漠然と体感していただけのことを、数字や言葉で表してみても、子どもや保護者が必要としていること、また相談員として感じていること、必要なこと、今後やっていきたいことを整理することができました。会場の皆さんとの意見交換、情報共有もとても楽しい時間でした。

報告者：障害児相談支援事業所あさがお 川嶋さん

【出前講座】近藤先生のこどもの発達基礎講座

（1回コース・2回コース・3回コース）

近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」をテキストに、

1. 発達とは何か？
 2. 乳児期の発達と「1歳半の節」
 3. 2歳から3歳の自我の発達
 4. 4歳、5歳のこころの発達
 5. 学童期の発達
- などをテーマとし、子どもらしいかわいさを発見し、子どもを応援できる手がかりとなるような発達の「学び」を願っています。



発達保障の基礎、初任者研修におすすめ！

※テキストとして近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」の購入が必要。

【出前講座】近藤先生の気になる子の秘められた魅力

近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」をテキストに、

「保育室にいてくれない」「暴言・暴力が目立つ」偏食がきつい」
保育の場でよくあげられる、気になる行動の理由にせまったら、
みんなと違って気になるところを魅力に変える手がかりがみえてくる。
保育者のみなさんへ、そして園長さんへのエールです。

※テキストとして近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」の購入が必要。



あいち障害者センターの事業紹介



「学び」を職員みなさんの共有の財産にするために、
あなたの事業所に伺います。

一緒に学びの場を作っていきませんか。

障害のある人や家族とともに一歩でも前に歩める、障害者・障害児の日中活動や暮らしの場における支援の在り方や職員の力量のアップが求められています。

正規職員さんも非常勤職員さんも、関わるご家族も、学生さんも、ともに学習することで、「学び」を共有しませんか。

※あなたの事業所の学習の場をお手伝いします。

※講師派遣（講演）は、ご希望の内容をふまえ、講演内容を相談いたします。

※センターにご協力いただいている多彩な方々が、成年後見、親の立場、当事者として、得意分野を語ります。

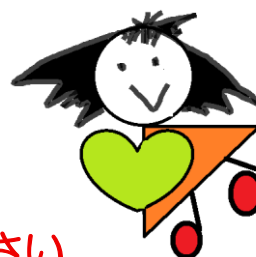
センターの応援団になってください。

■賛助会費：（法人・事業所・団体）年間1口10000円

■賛助会費：（個人）年間1口2000円

※センター講座は、賛助会員割引があります。

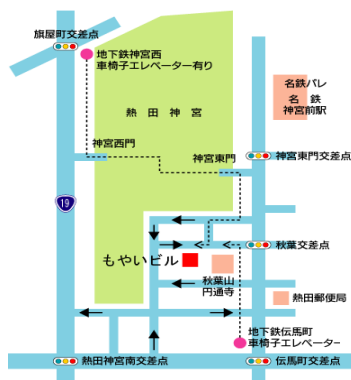
※センターエレベーター修繕募金にご協力ください。



①郵便振替(払込取扱票) 00810-7-78563

②ゆうちょ銀行 ○八九店(089) 当座 0078563

特定非営利活動法人 あいち障害者センター



地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町」徒歩7分

名鉄本線「神宮前」徒歩7分

市バス「神宮東門」徒歩7分

※駐車場はありません。近隣のコインパークをご利用ください。

NPO あいち障害者センター

住所：名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話：052-682-7911 FAX：052-682-7916

メール：asc732@spa.nifty.com（講師派遣・研修用）

学習したあとは熱田神宮へ散策！

ホームページ：<http://www.npo-asc.jp/>